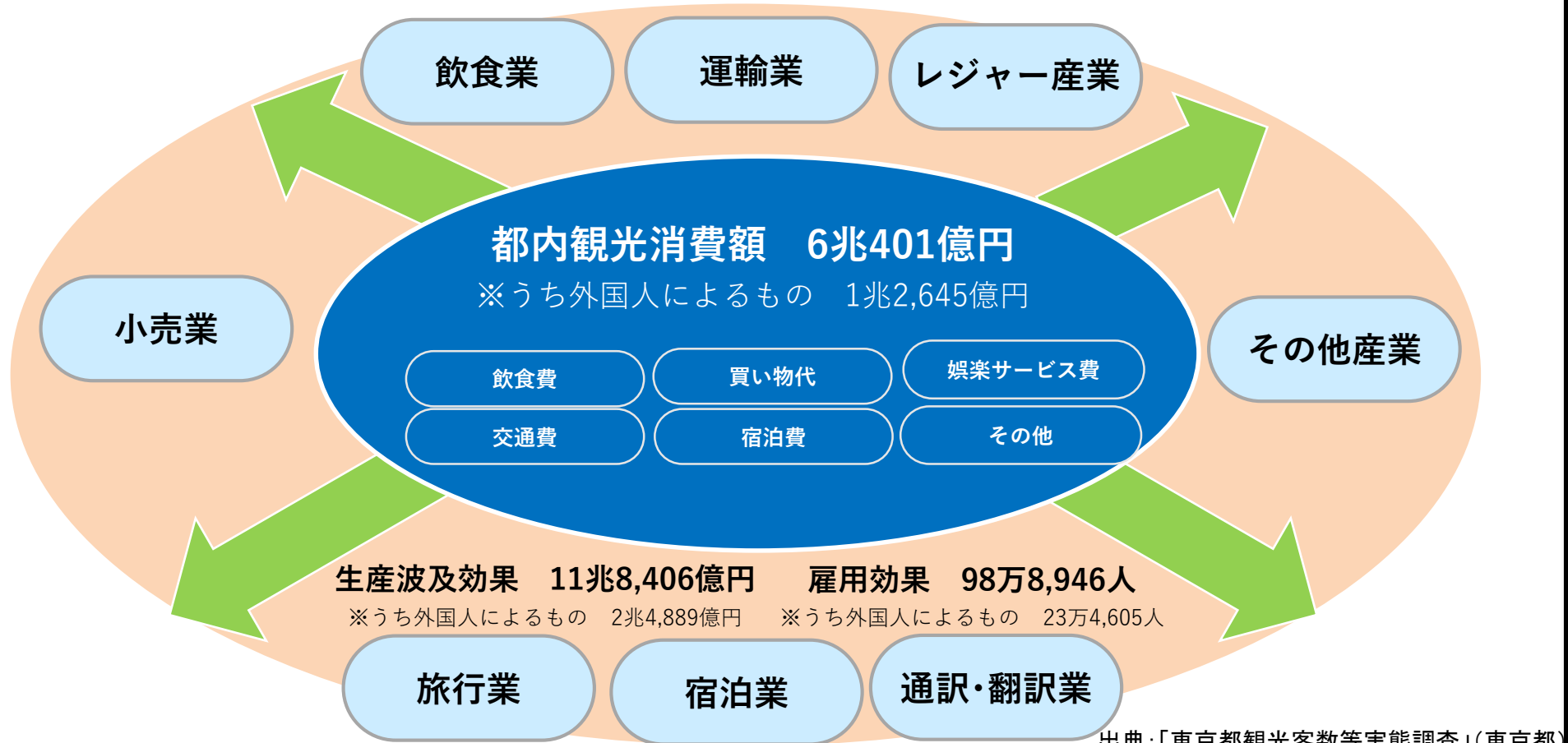


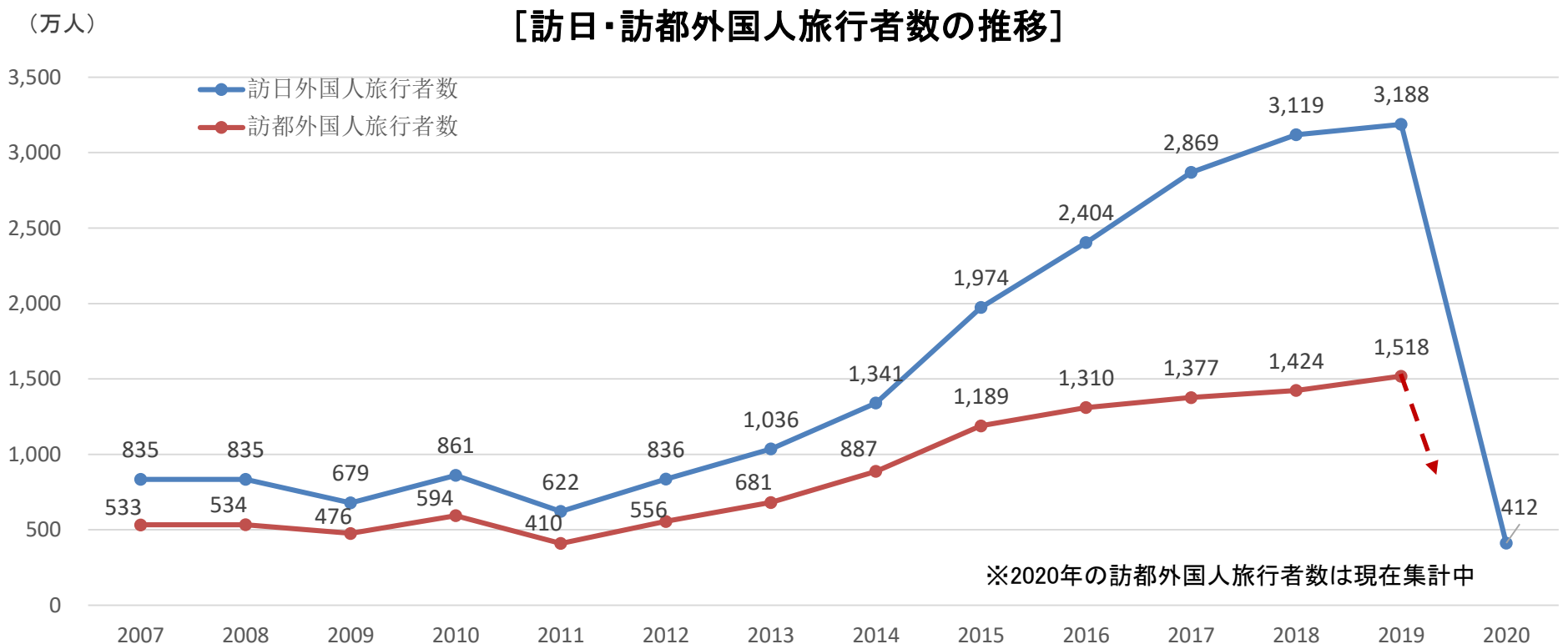
1 都内観光消費額と経済波及効果

➤ 2019年の都内観光消費額は**6兆円**を超え、生産波及効果は**約11兆8千億円**。雇用効果は**約98万9千人**。観光産業は、幅広い産業に経済面の波及効果と雇用を生み出す。



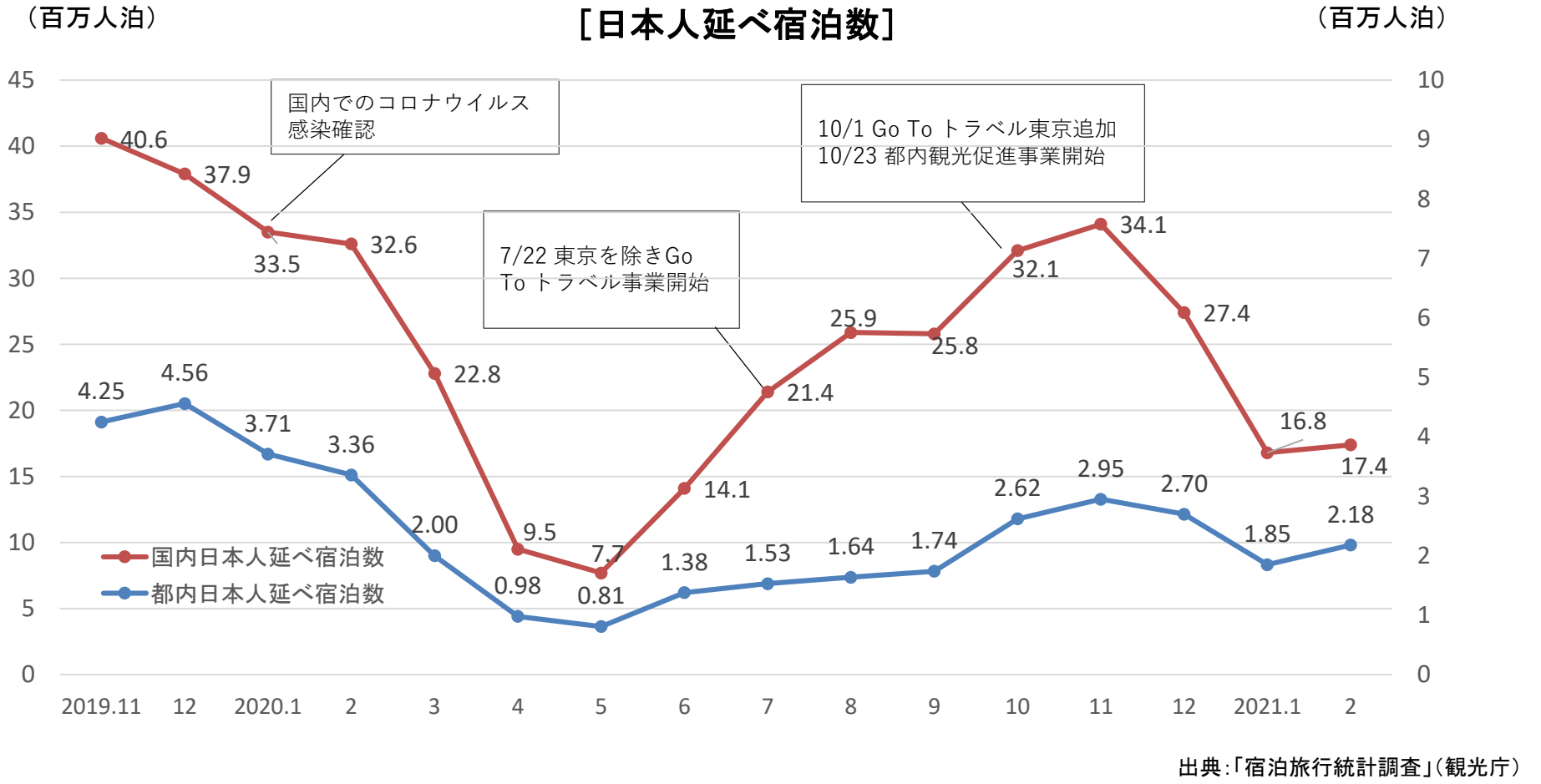
2 訪日・訪都外国人旅行者数の推移

➤ 2020年の訪日外国人旅行者数は、前年比**87%減**の**約412万人**。訪都外国人旅行者数も、大幅な減少が見込まれる。



3 日本人宿泊数

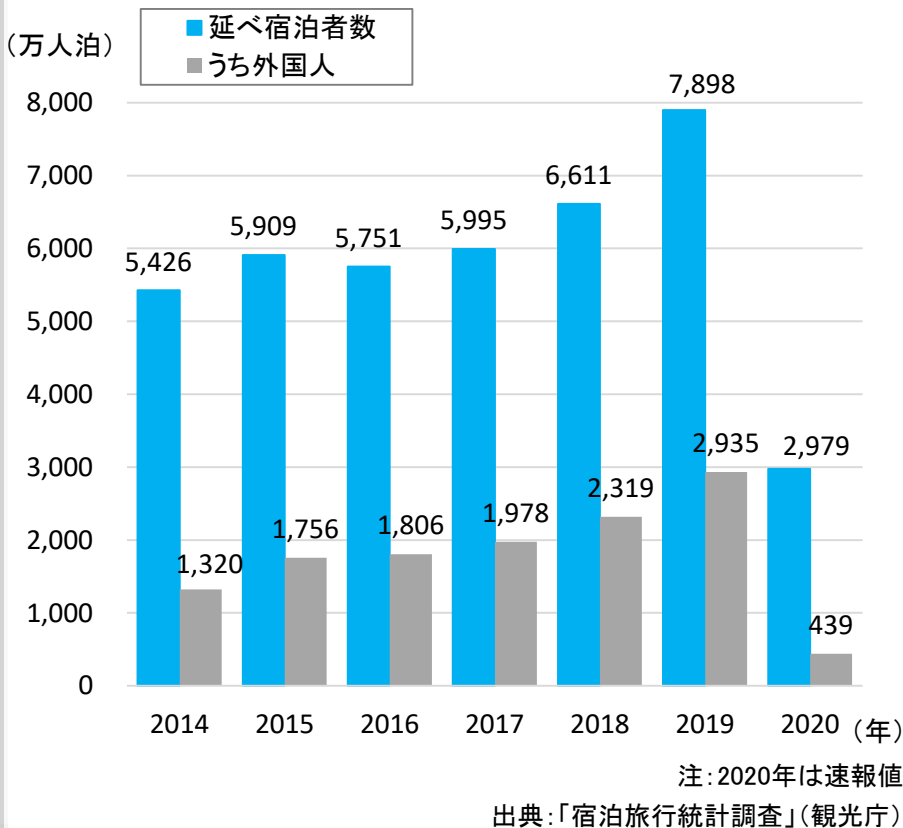
- ▶ 日本人宿泊数は、新型コロナウイルスの感染拡大により急減
- ▶ Go Toトラベルの実施等により、都内でも**2020年10月から12月は250万人泊を超えた。**



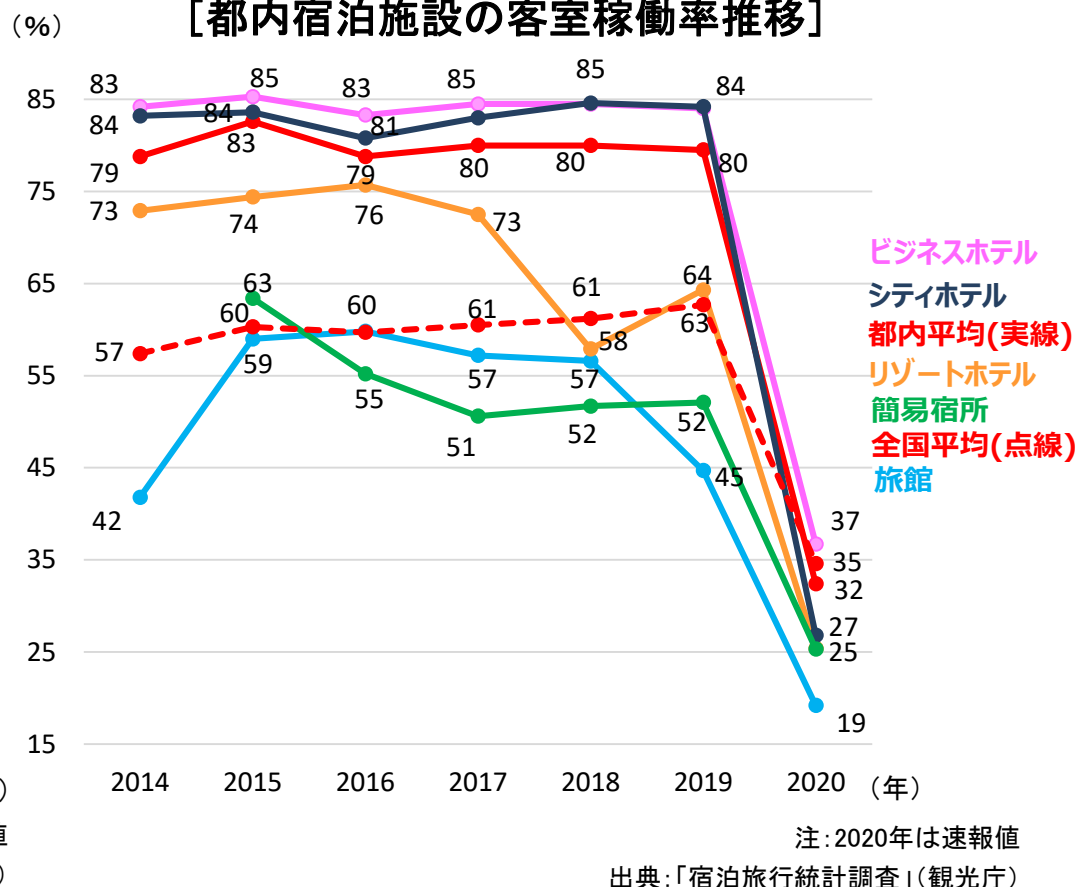
4 都内の宿泊需給の状況

- ▶ 2020年の都内の延べ宿泊者数は、前年比**62%減**の**約3千万人泊**。外国人延べ宿泊者数も**85%減**の**約440万人泊**
- ▶ 都内宿泊施設の平均客室稼働率は、**35%まで減少**

〔都内宿泊施設の延べ宿泊者数推移〕



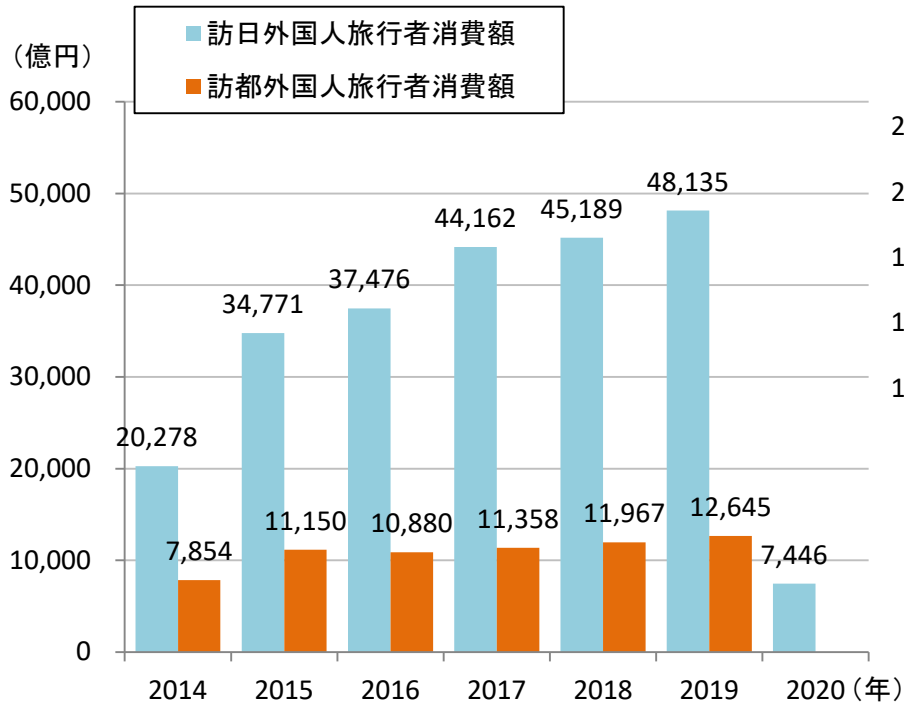
〔都内宿泊施設の客室稼働率推移〕



5 観光による消費額の推移

- 2020年の訪日外国人旅行者消費額は、前年比**85%減**の**約7千5百億円**。国内日本人旅行者消費額は、**56%減**の**約9兆9千億円**
- 同年の訪都旅行者消費額も、大幅な減少が見込まれる。

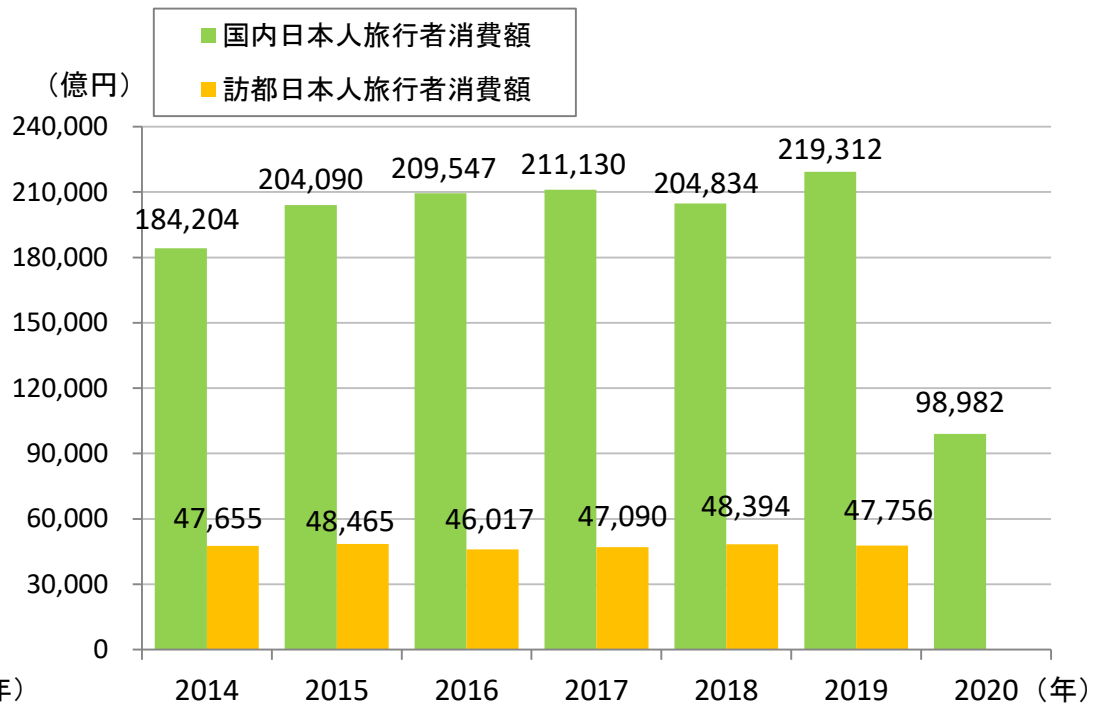
【外国人旅行者の消費額推移】



注: 2020年は試算値

出典: 「訪日外国人消費動向調査」(観光庁)、
「東京都観光客数等実態調査」(東京都)

【日本人旅行者の消費額推移】



注: 2020年は速報値

出典: 「旅行・観光消費動向調査」(観光庁)、
「東京都観光客数等実態調査」(東京都)

6 観光関連事業者の新たな取組

- 厳しい状況下において、観光関連事業者は、**安全安心志向の高まり**や**働き方の変化**、**デジタル化等の社会変化**を捉え、**感染防止対策**や**新たなサービス**を展開

(社会変化)

- 安全・安心は基礎的なインフラに
- 働き方の変化
- デジタル化の加速

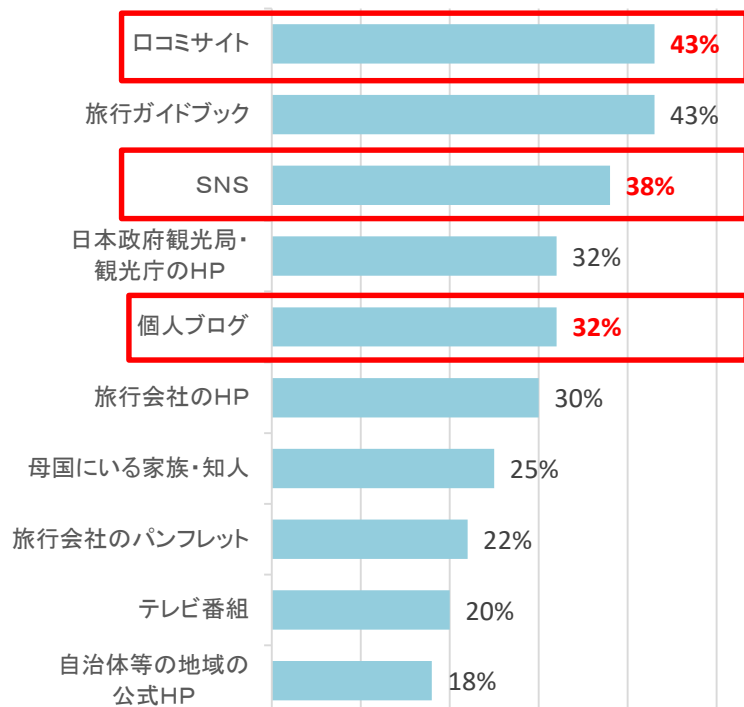
(新たな取組例)

- 感染防止のための取組の徹底
入場者のマスク着用の徹底、施設内の定期的な換気、
アクリル板等による遮蔽、宿泊施設における非接触型
サービスの導入
- 宿泊施設におけるテレワークプランの実施
- 旅行業者等によるオンラインツアーの実施
など

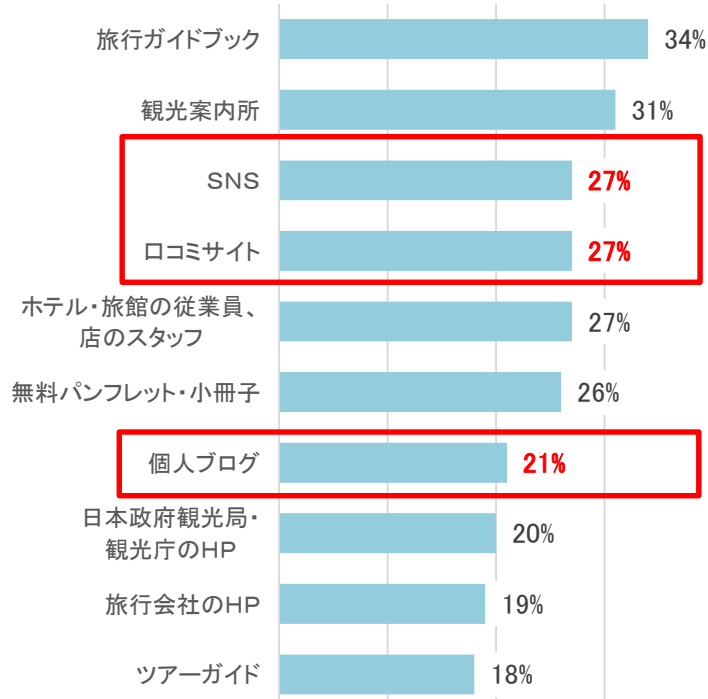
7 訪日旅行の情報収集手段

➤ ICTの発展により、訪日旅行前及び旅行中において、**インターネットによる情報発信・情報収集**が定着

〔訪日旅行前の情報収集手段〕



〔訪日旅行中の情報収集手段〕

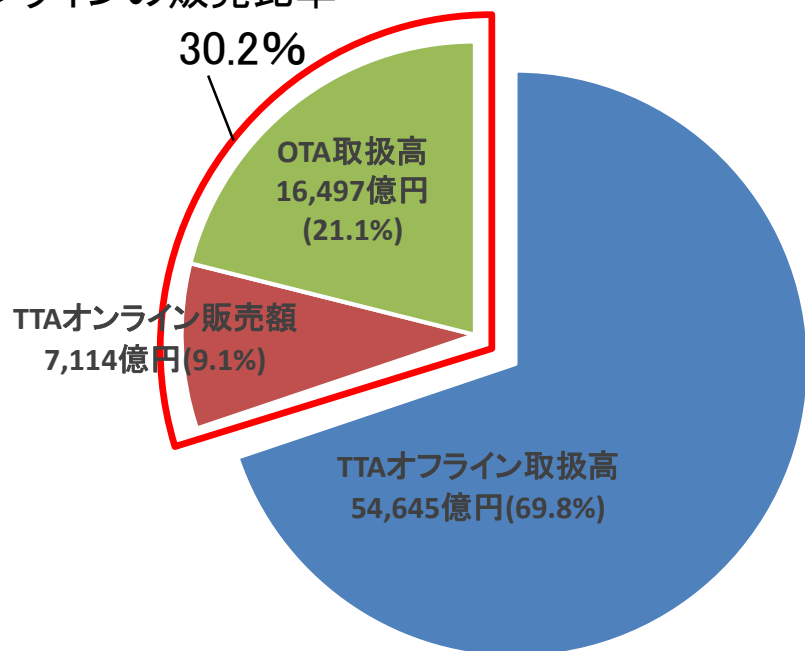


出典：(財)日本交通公社・政策投資銀行調査(2019年)

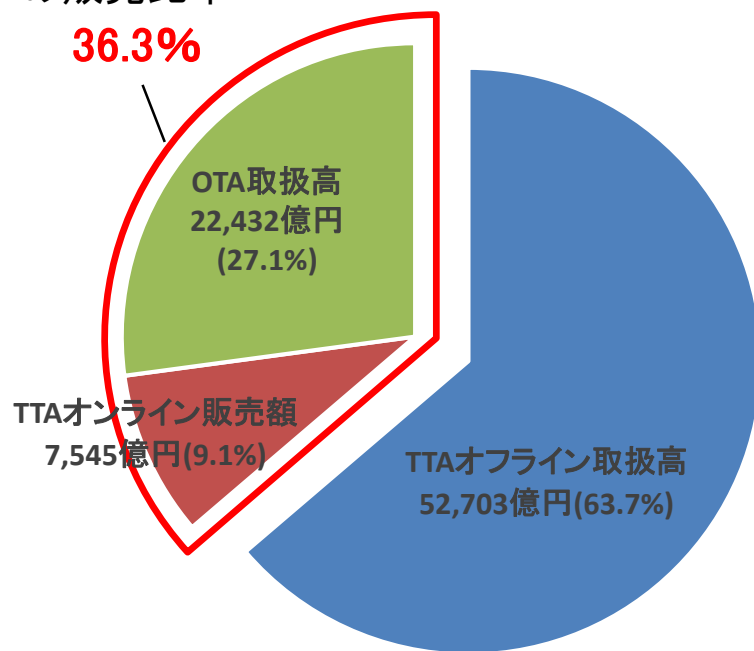
8 旅行業者のオンライン販売

➤ 国内旅行会社による**オンラインの総取扱高**（OTAとTTAオンラインの合計）及び**販売比率**は**増加傾向**にある。オンラインでの旅行商品の取引は世界的にも増加

オンラインの販売比率 2015年度



オンラインの販売比率 2017年度



※1. TTA: トラディショナル・トラベル・エージェント
 ※2. OTA: オンライン・トラベル・エージェント

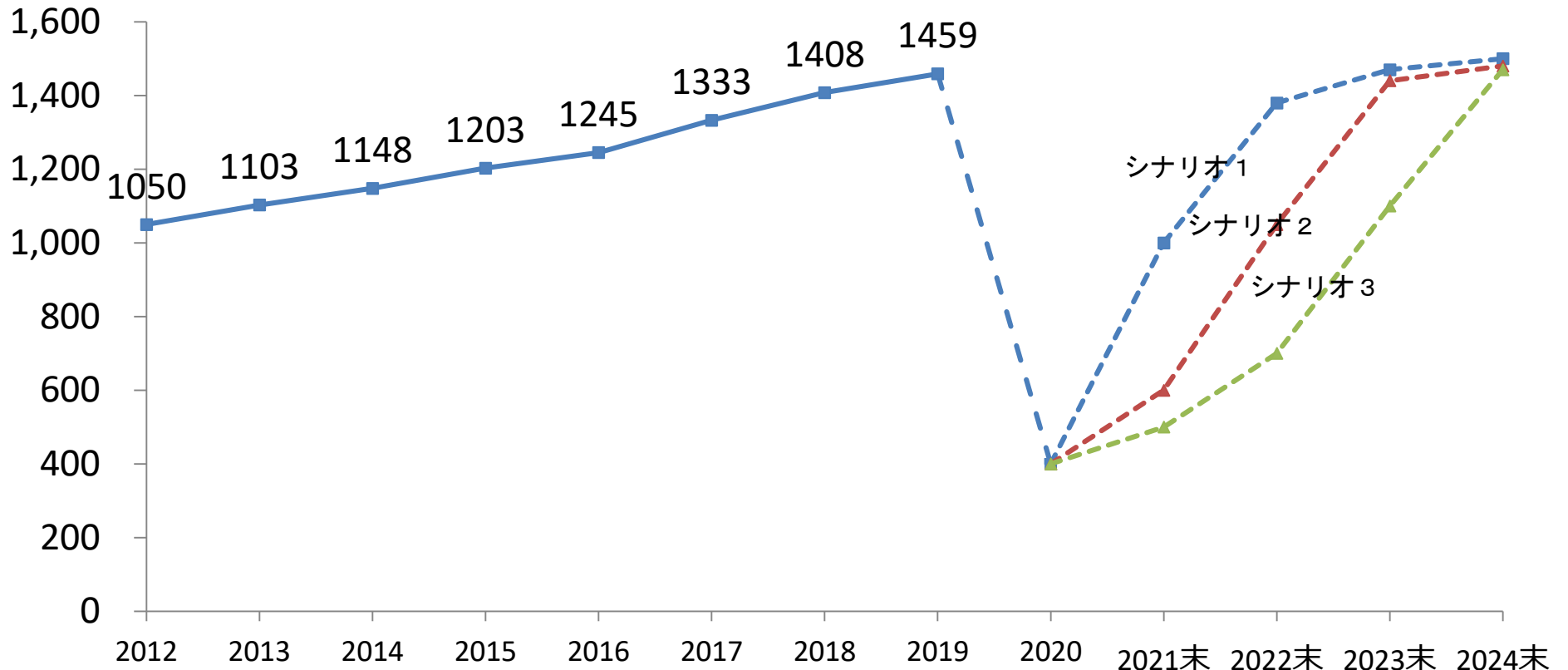
出典：「日本のオンライン旅行市場調査第4版」
 (フォーカスライトJapan)

9 国際旅行者の回復時期の見通し

UNWTOによると、国際旅行者の回復時期は、**2023年6月～2024年末**となる見込み

(百万人)

[国際旅行者の回復時期の予測]



出典：国連世界観光機関（UNWTO）

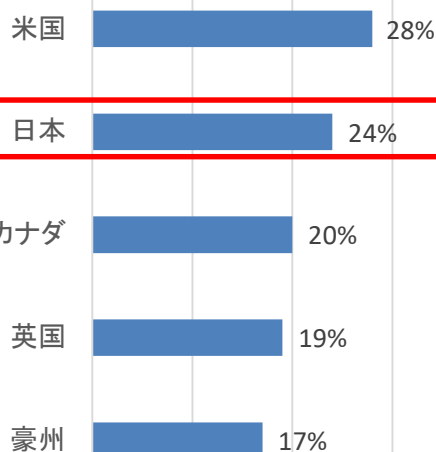
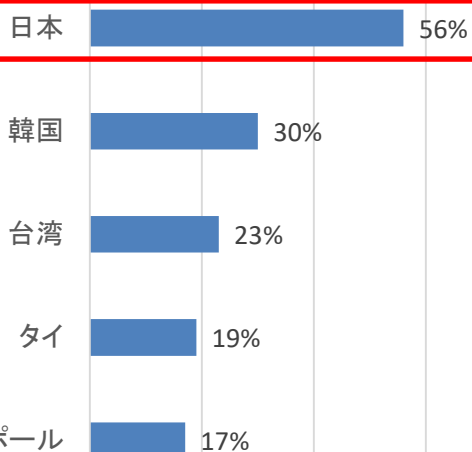
10 コロナ終息後の訪日旅行

- 日本への訪問意向は、**アジア・欧米豪のいずれの地域においても高い**
- 特に、日本の**衛生面への配慮、清潔さなど**に期待が寄せられている

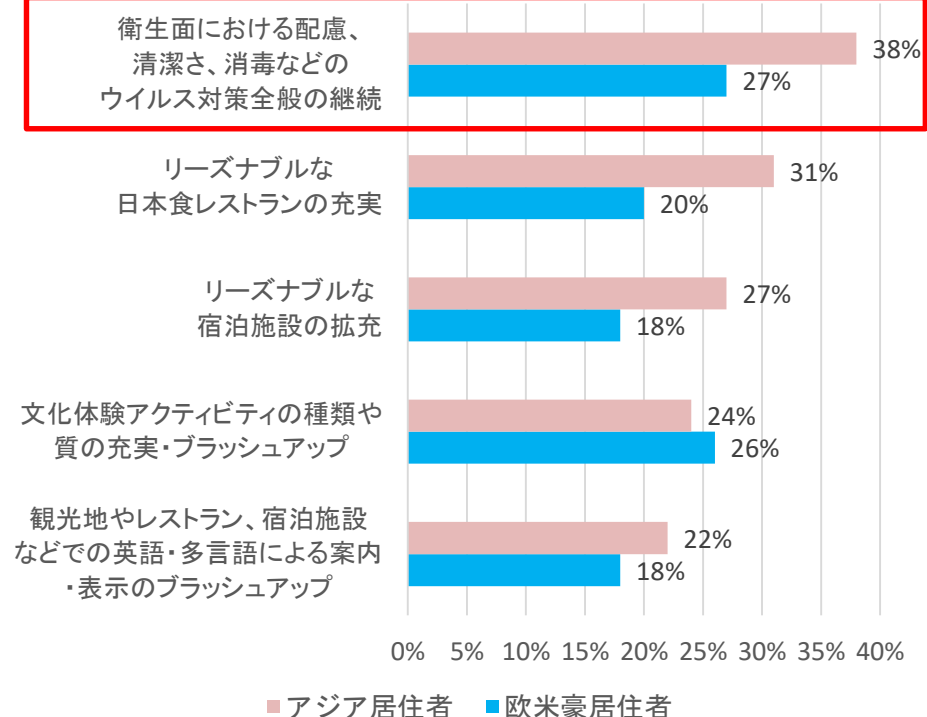
[コロナ終息後に旅行したい国・地域]

アジア居住者

欧米豪居住者



[コロナ終息後の訪日旅行で期待したいこと]



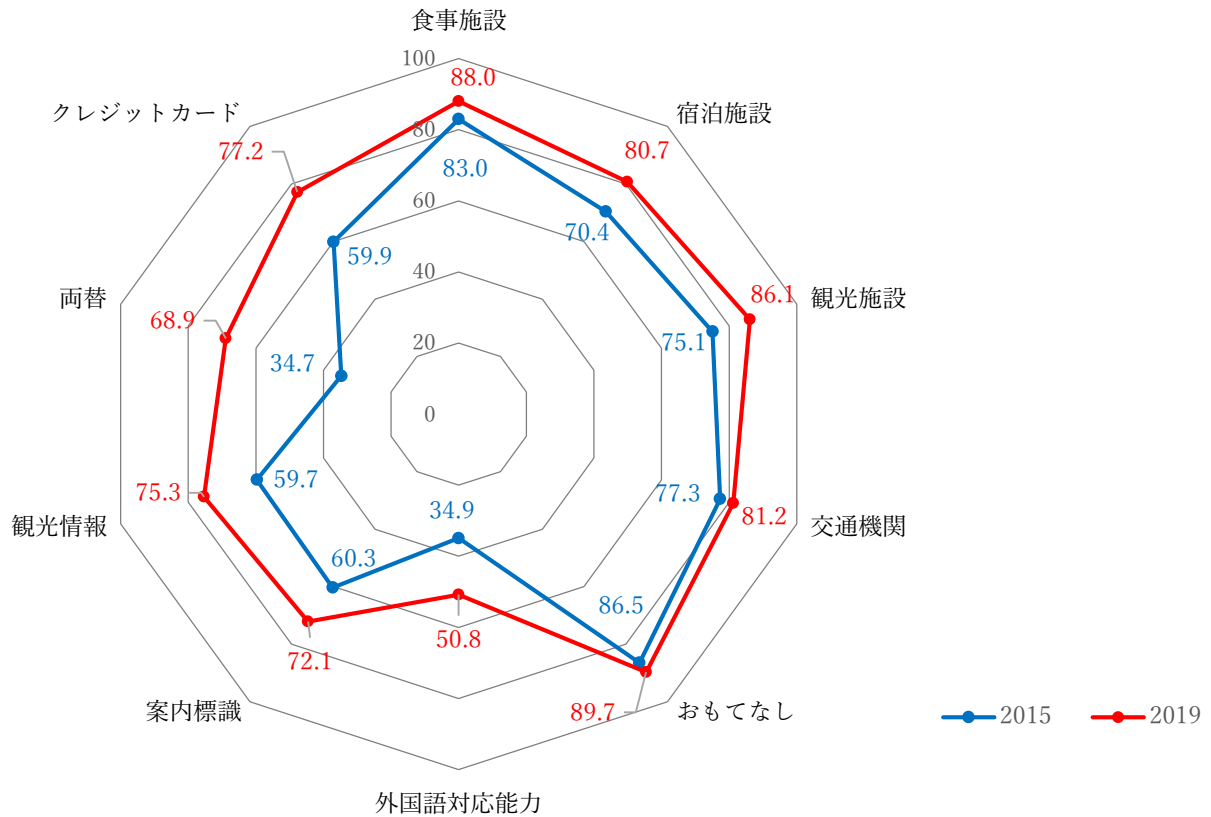
出典：(財) 日本交通公社・政策投資銀行調査(2020年8月)

出典：(財) 日本交通公社・政策投資銀行調査(2020年8月)

11 訪都外国人の満足度

➤ 2019年調査では、**全ての調査項目において満足度が上昇**している。外国語対応能力について約5割であるが、英語圏においては高い満足度を得ている(米国70.6%など)。

[訪都外国人の項目別満足度]



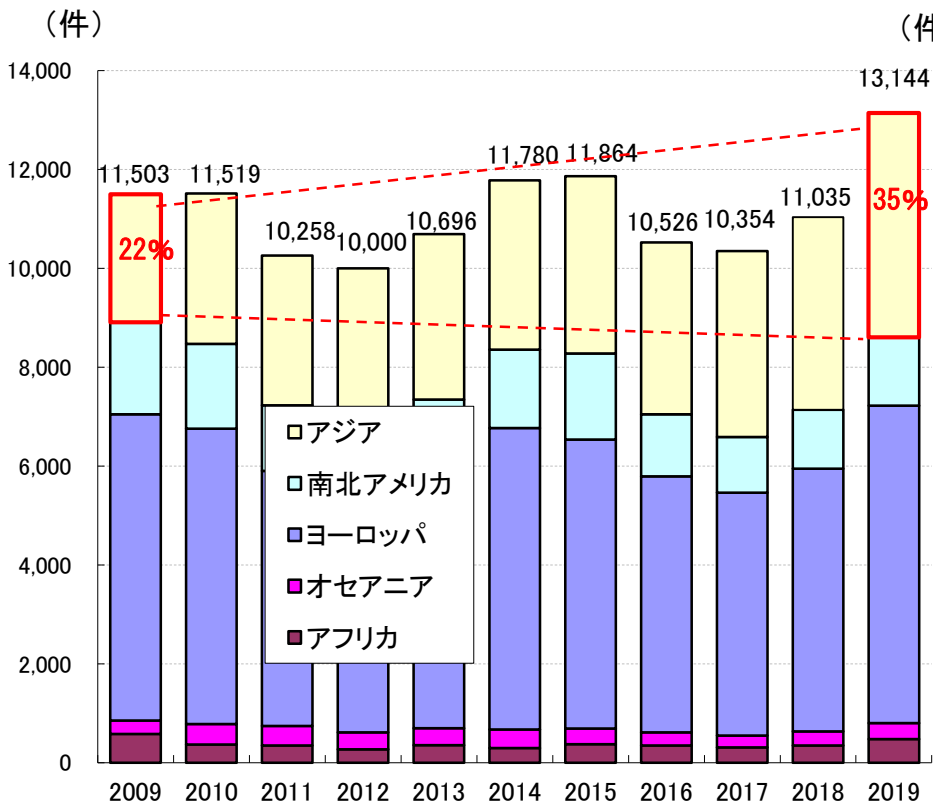
出典：「国・地域別外国人旅行者行動特性調査」(東京都)

12 国際会議の開催件数の推移

➤ 国際会議のシェアは**アジアで拡大**。東京は都市別で**世界6位、アジアで3位**

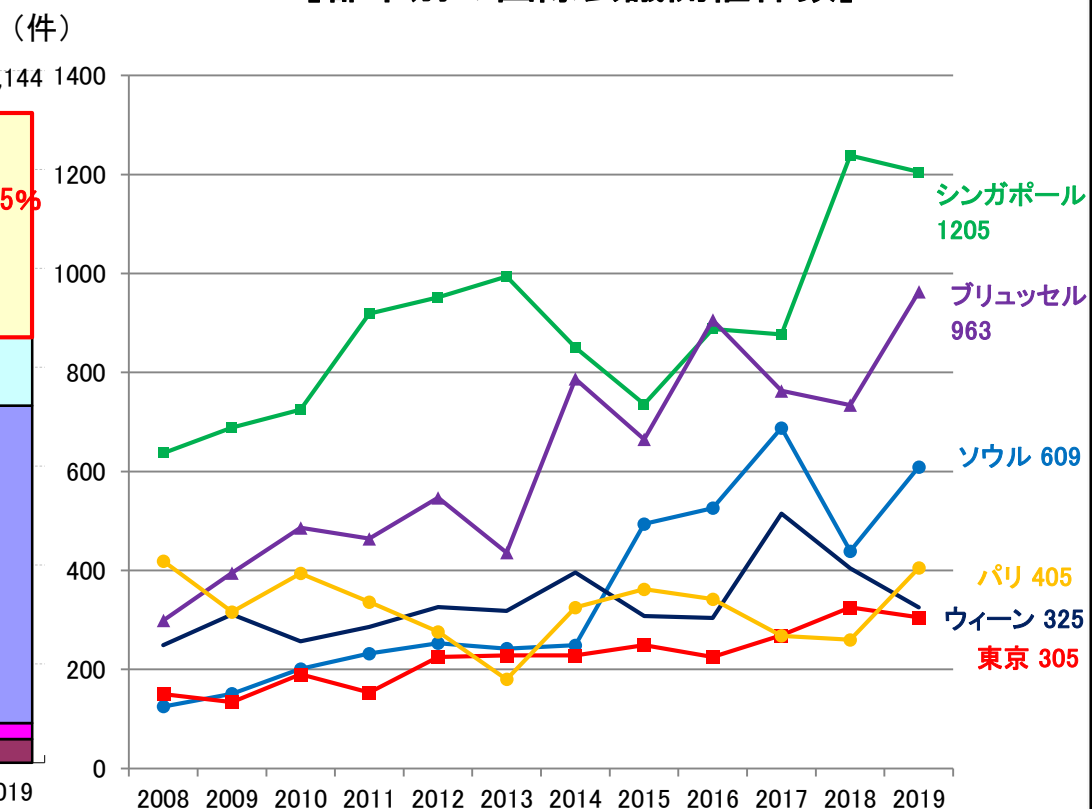
➤ 直近の多くは中止や延期を余儀なくされたものの、数年後の開催となるMICEは依然として**誘致競争が継続**。オンラインを活用したMICE開催も広がりつつある。

[世界の国際会議市場]



出典：「国際会議統計」(日本政府観光局)

[都市別の国際会議開催件数]



出典：「国際会議統計」(日本政府観光局)